

富山湾漁況・海況概報

(NO. 4-10)

富山県農林水産総合技術センター
水産研究所：TEL (076) 475-0036

1. 令和4年12月の漁況

水産研究所が県下市場から収集した令和4年12月の県内の総漁獲量は1,943トンで前年(1,535トン)を上回り、平年(過去10年平均：2,109トン)をやや下回った。

2. 12月の主な魚種別漁況 (表1参照)

アジ：全市場合計漁獲量は566トンで平年(過去10年平均：185トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は魚津205トン、新湊158トン、とやま市153トン。

サバ：全市場合計漁獲量は394トンで平年(過去10年平均：292トン)を上回った。

市場別漁獲量はとやま市150トン、魚津131トン、新湊66トン。

カタクチイワシ：全市場合計漁獲量は265トンで平年(過去10年平均：202トン)を上回った。

市場別漁獲量は氷見183トン、新湊81トン、とやま市1トン。

ブリ：全市場合計漁獲量は112トンで平年(過去10年平均：59トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見70トン、新湊19トン、とやま市17トン。

ソウダガツオ：全市場合計漁獲量は105トンで平年(過去10年平均：436トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は氷見85トン、新湊16トン、とやま市2トン。

シイラ：全市場合計漁獲量は101トンで平年(過去10年平均：67トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見46トン、とやま市38トン、新湊15トン。

フクラギ：全市場合計漁獲量は45トンで平年(過去10年平均：178トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は魚津25トン、氷見8トン、新湊6トン。

カワハギ類：主にカワハギが漁獲された。全市場合計漁獲量は36トンで平年(過去10年平均：67トン)

を下回った。市場別漁獲量は新湊19トン、氷見7トン、魚津5トン。

ベニズワイ：全市場合計漁獲量は35トンで平年(過去10年平均：70トン)を下回った。

市場別漁獲量は魚津15トン、新湊9トン、滑川8トン。

表1 令和4年12月の主な魚種別漁獲量

(単位：トン)

魚種	漁法	令和4年12月				前年 月計	前月 月計	平年比 (%)
		上旬	中旬	下旬	月計			
アジ	定	130	400	36	566	301	49	305
サバ	定	116	251	27	394	152	232	135
カタクチイワシ	定	27	212	26	265	7	86	131
ブリ	定	46	29	37	112	29	60	189
ソウダガツオ	定	53	31	20	105	175	49	24
シイラ	定	47	33	21	101	132	102	152
フクラギ	定	9	12	24	45	236	19	25
カワハギ類	定	13	14	9	36	51	37	53
ベニズワイ	漁	11	7	18	35	46	51	51
アオリイカ	定	18	9	7	34	33	85	103
小計		470	998	225	1,693	1,161	770	
その他		84	67	100	250	374	289	
合計		553	1,064	325	1,943	1,535	1,059	92

注：単位未満は四捨五入したため、月計と各旬の合計値が一致しない場合がある。

定：定置網、 漁：漁船漁業

※ 参考	かなり上(下)回る：+51%以上	上(下)回る：+50%~+21%
	やや上(下)回る：+20%~+6%	平年並み：+5%以内

3. 2022年1月～12月の漁況（まとめ）

・漁業種類別漁獲量（図1）

水産研究所が県下市場から収集した2022年の県内総漁獲量は19,913トンで、平年（過去10年平均：20,661トン）並みであった。漁業種類別では、定置漁業が18,360トン（平年比100%）、漁船漁業が1,531トン（平年比70%）、採貝・採藻漁業が22トン（平年比46%）であった。

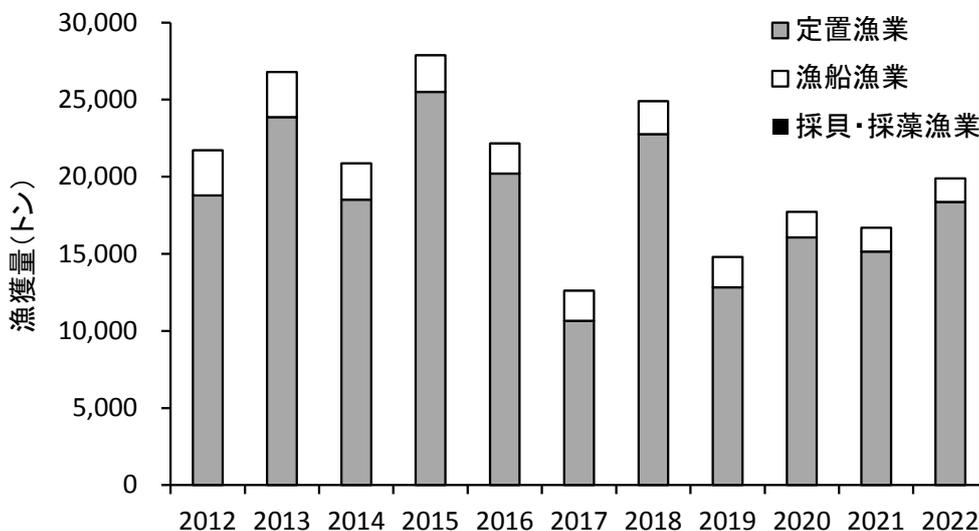


図1 漁業種類別漁獲量の推移

・魚種別漁獲量（図2および表2）

主要魚種の2022年漁獲量を平年（過去10年平均）と比較し、図2および表2に示した。

2022年に最も多く漁獲されたのはサバ（4,342トン）であり、次いでマイワシ（4,263トン）、ホタルイカ（2,101トン）、スルメイカ（1,396トン）、アジ（988トン）の順であった。

漁獲量が平年を大きく上回った魚種はサバ（平年比301%）、ホタルイカ（平年比155%）、フグ類（184%）、ブリ（143%）などであった。一方、漁獲量が平年を大きく下回った魚種はアジ（平年比52%）、ソウダガツオ（平年比37%）、カワハギ類（平年比52%）、カマス（平年比44%）、サワラ（平年比49%）などであった。

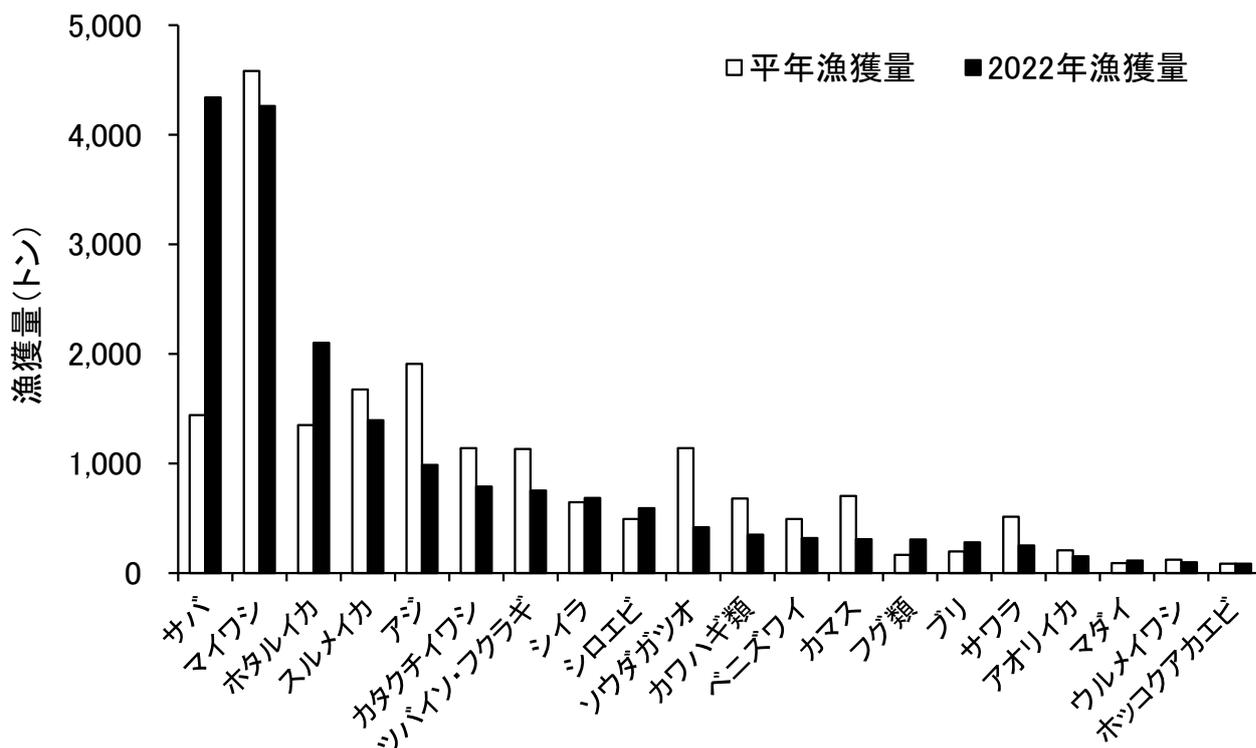


図2 魚種別漁獲量(2022年と平年の比較)

表2 主要魚種の漁獲量(水産研究所調べ, 漁獲量:トン, 平年値は過去10年の平均)

魚種	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	平年	2022年	平年比
サバ	1,191	980	3,132	3,838	635	800	1,253	1,046	759	790	1,442	4,342	301%
マイワシ	2,969	5,552	445	6,163	8,173	62	11,511	2,580	4,176	4,187	4,582	4,263	93%
ホタルイカ	946	2,474	1,717	1,476	1,194	1,299	689	437	1,885	1,397	1,351	2,101	155%
スルメイカ	1,106	2,357	2,168	1,932	1,027	950	2,534	1,413	1,792	1,474	1,675	1,396	83%
アジ	2,529	3,122	2,494	2,520	2,068	1,636	1,348	1,166	1,180	1,040	1,910	988	52%
カタクチイワシ	1,822	1,056	2,631	1,377	454	256	326	1,286	1,545	639	1,139	788	69%
ツバイソ・フクラギ	1,145	1,810	1,440	1,009	1,421	1,461	717	1,026	683	612	1,132	754	67%
シイラ	445	687	270	634	848	454	561	422	748	1,401	647	685	106%
シロエビ	455	463	452	389	440	473	571	670	511	522	495	593	120%
ソウダガツオ	2,908	1,906	488	2,095	744	755	1,248	550	327	380	1,140	419	37%
カワハギ類	601	1,137	968	437	640	624	872	341	492	685	680	350	52%
ベニズワイ	679	609	568	490	437	460	445	477	396	374	494	319	65%
カマス	869	582	733	1,679	640	620	307	407	554	653	704	309	44%
フグ類	432	184	162	155	107	230	98	110	72	115	166	307	184%
ブリ	157	373	114	174	104	144	219	235	338	105	196	282	143%
サワラ	363	585	332	981	799	322	269	482	495	516	514	251	49%
アオリイカ	313	215	276	172	215	145	197	185	222	126	207	153	74%
マダイ	73	89	129	91	87	126	123	71	65	66	92	114	124%
ウルメイワシ	82	48	196	252	169	99	30	155	105	85	122	99	81%
ホッコクアカエビ	78	96	88	93	87	80	84	86	88	83	86	86	100%
ハチメ類	32	43	16	40	40	25	73	22	32	20	34	69	202%
メジ・シビコ	109	77	104	28	66	65	47	85	36	140	75	58	77%
ガンド	80	41	72	88	161	94	48	25	32	64	71	56	80%
ヤリイカ	176	114	74	71	51	23	27	58	37	46	68	48	71%
ヒラメ	92	100	110	130	105	90	82	90	86	57	94	46	49%
ヒラマサ	118	220	56	69	44	11	62	246	66	41	93	43	46%
タチウオ	37	68	29	32	45	19	34	39	38	78	42	42	100%
メジナ	46	48	76	59	57	37	35	34	47	46	49	40	82%
スズキ	36	31	26	25	28	49	41	33	18	19	31	27	89%
クロダイ	18	19	22	19	18	26	22	21	19	21	20	22	107%
メダイ	28	26	31	12	7	12	7	16	14	18	17	21	123%
マダラ	14	15	27	21	26	22	15	15	15	11	18	9	48%
サケ	30	54	127	155	43	34	15	12	17	9	50	7	15%
マグロ	19	5	4	5	3	8	5	6	3	11	7	6	93%
サヨリ	4	2	3	4	3	1	2	4	2	2	3	6	245%
ニギス	43	16	21	20	11	10	7	10	11	5	15	5	36%
ソデイカ	142	104	17	1	31	12	56	16	4	5	39	2	5%
イボダイ	7	7	4	0	2	1	0	0	3	4	3	1	39%
沖合スルメイカ	0	7	8	0	1	0	6	0	4	0	3	0	14%
スケトウダラ	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	33%
漁獲量総計	21,766	26,849	20,929	27,939	22,222	12,667	24,944	14,839	17,753	16,700	20,661	19,913	96%

4. 海洋観測結果

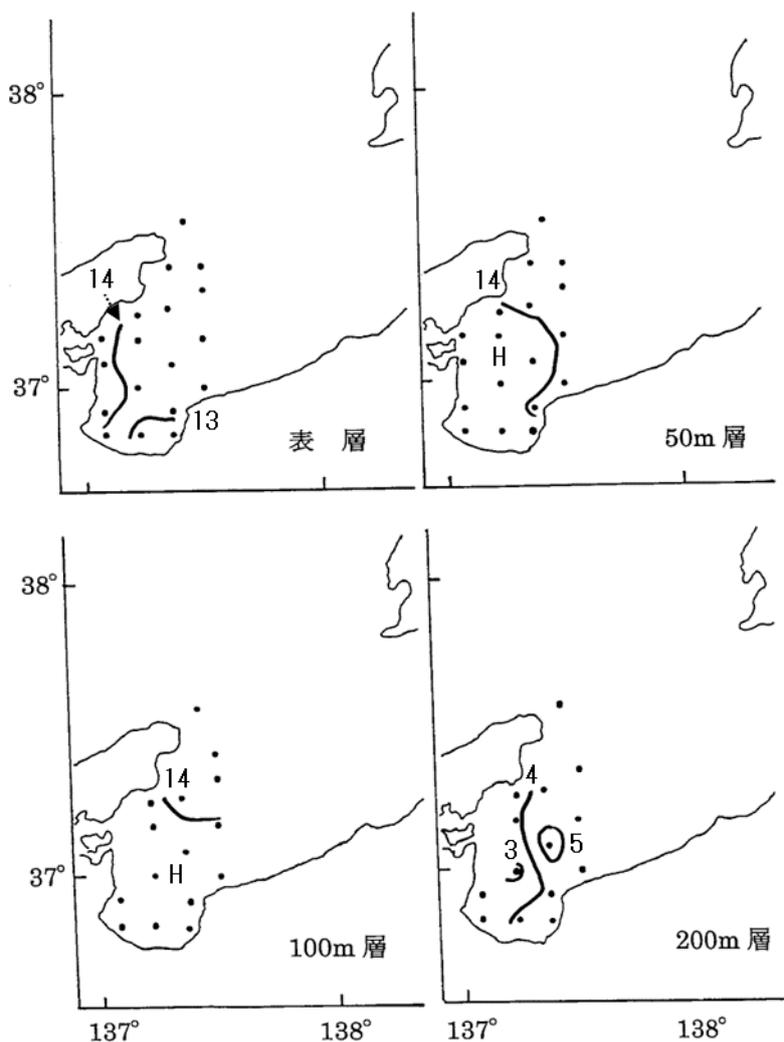
令和5年1月期の海洋観測を1月11～12日に実施した。今回観測した水深別の湾内17定点の平均水温、これらの平年差、評価及び前月差は表3のとおりであった。また、観測域の表層、水深50m層、100m層および200m層における水温水平分布は図3のとおりであった。

観測定点の水温の範囲は、表層で12～14℃台、50m層で13～14℃台、100m層で13～14℃台、200m層で2～5℃台であった。なお、昨年同期の湾内17定点の平均水温との差は、表層で +0.44℃、50m層で +0.05℃、100m層で +0.02℃、200m層で -2.95℃であった。

水深(m)	0	10	20	30	50	75	100	150	200	300
水温値	13.58	14.05	14.10	14.11	14.12	14.04	14.09	9.87	4.01	1.37
平年差	+0.23	+0.23	+0.21	+0.19	+0.19	+0.12	+0.22	-2.07	-1.76	-0.23
評価	←-----平年並み----->							←-----かなり低い----->	←-----やや低い----->	←-----平年並み----->
前月差	-4.41	-4.57	-4.58	-4.57	-4.52	-4.60	-3.75	-0.57	-1.04	-0.08

“平年並み” …約2年に1回の出現確率	“かなり高(低)い” …約10年に1回の出現確率
“やや高(低)い” …約4年に1回の出現確率	“はなはだ高(低)い” …約20年以上に1回の出現確率

図3 水温水平分布



5. 2022年の富山湾の水温(まとめ)

2022年1月から12月の富山湾の表層、水深50m層、100m層および200m層の水温(湾内17定点の平均値)の推移を図4に、これらの水温の平年値(過去30年間の平均値)との差を図5に示した。

1月から12月の表層の水温は10.30℃(3月)~28.32℃(8月)で、平年差は-0.31℃(9月)~+1.10℃(5月)であった。50m層の水温は10.22℃(3月)~23.84℃(9月)で、平年差は-1.38℃(10月)~+2.74℃(8月)であった。100m層の水温は10.24℃(3月)~17.84℃(12月)で、平年差は-2.91℃(11月)~+1.73℃(8月)であった。200m層の水温は4.09℃(11月)~9.93℃(3月)で、平年差は-1.93℃(5月)~+3.71℃(3月)であった。

0mの水温は、5~12月まで概ね高めであった。50mは8、12月にはなはだ高めで過去最高であった。100mは11月にはなはだ低めとなった。200mは3月にはなはだ高めで過去最高であった。

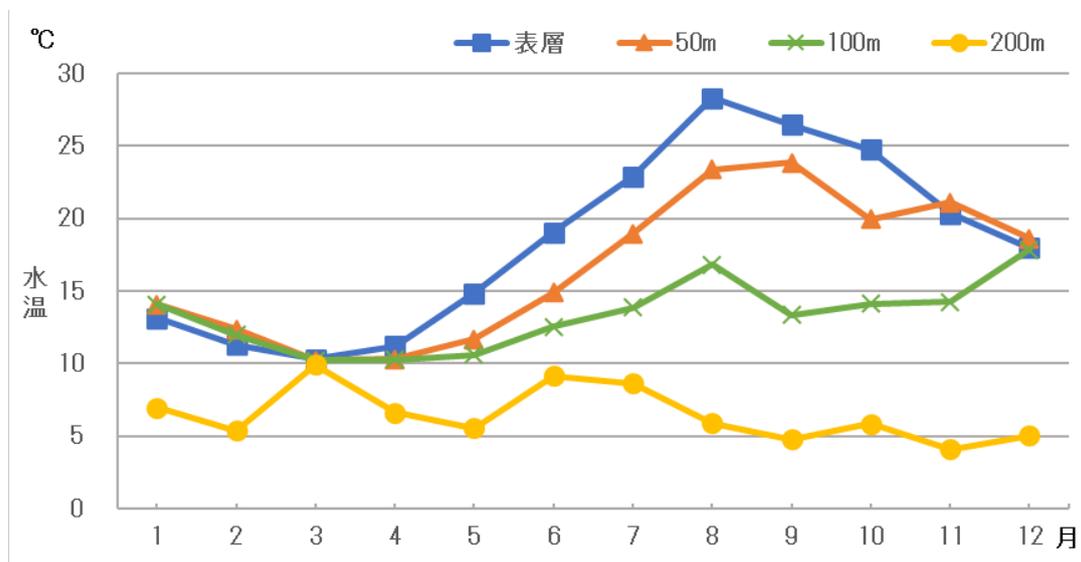


図4 2022年における富山湾周辺17定点平均水温の推移

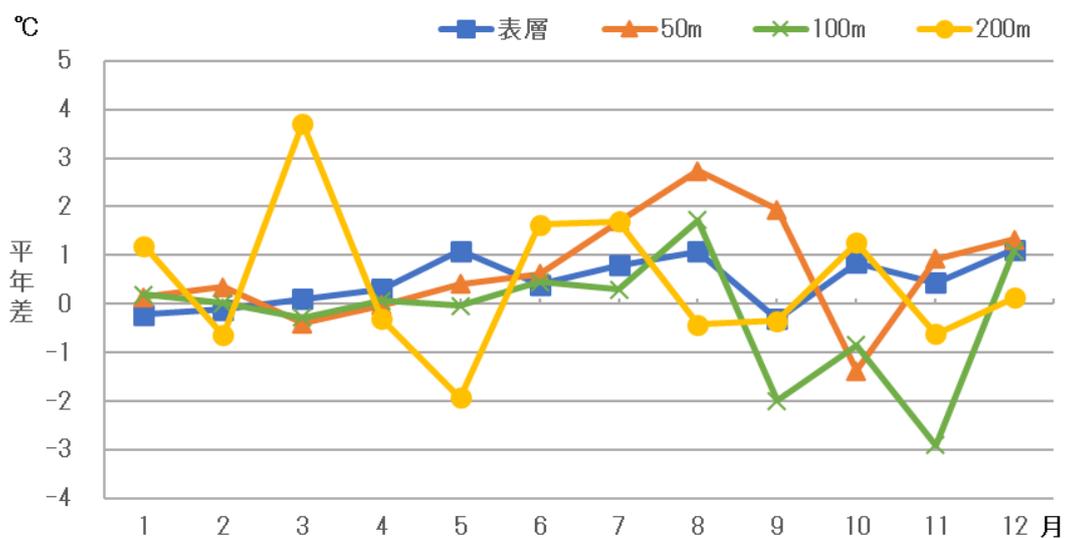


図5 2022年における富山湾周辺17定点平均水温の平年差の推移